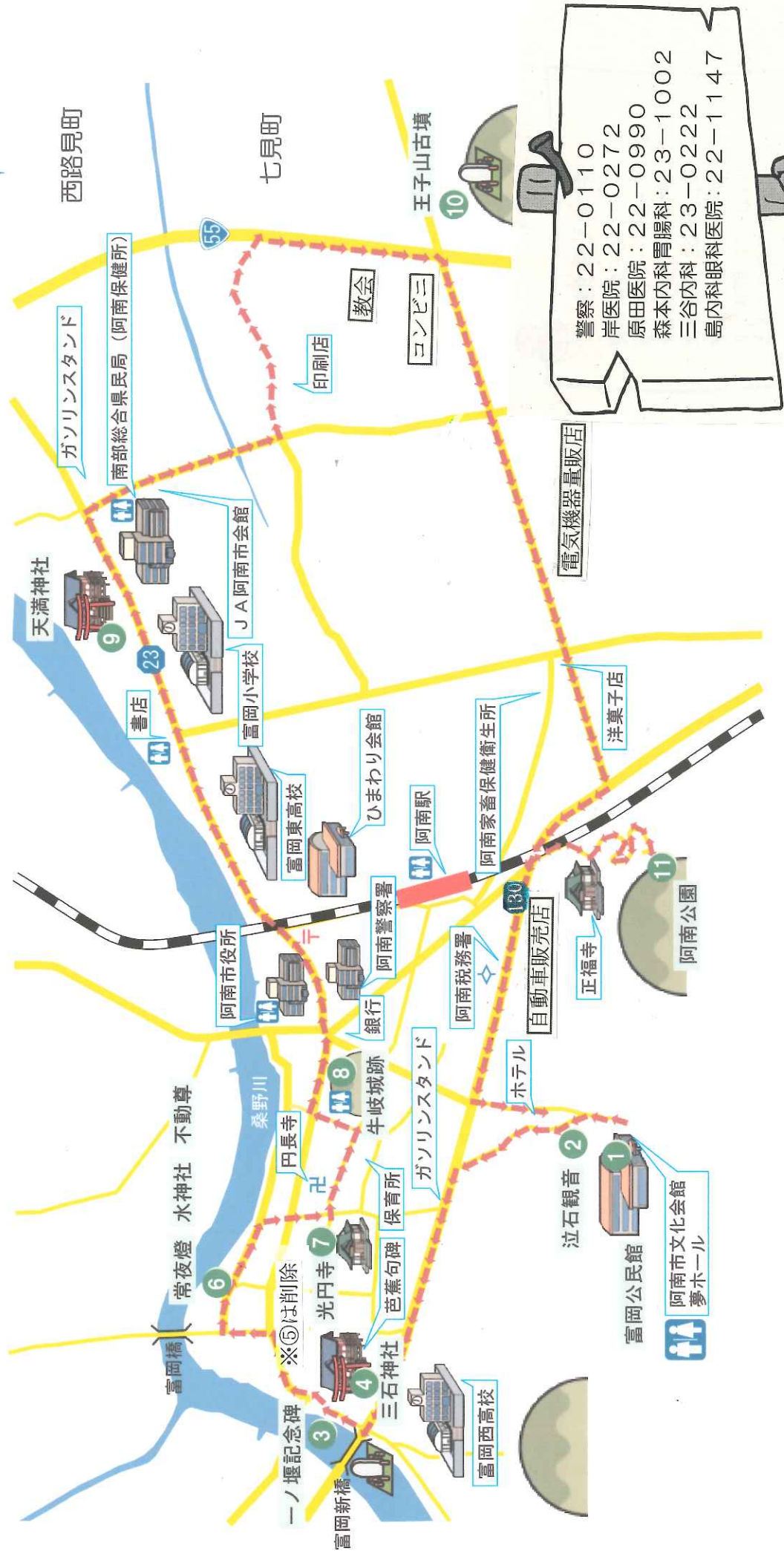


完歩しましたかあの道

阿南健康第1番完歩 富岡公民館の道

富岡公民館
富岡町西池田135-1
Tel (0884) 22-1028



完歩しましたかあの道

阿南健康第1番完歩 富岡公民館の道

- ①富岡公民館 ②泣石観音 ③一の堰記念碑
 WC 100m 1.3km 30m
- ④三石神社(芭蕉の句碑) ※⑤は削除
 400m
- ⑥常夜灯,水神さん,不動尊 ⑦光円寺(銀杏の木)
 300m 400m
- ⑧牛岐城(富岡城)跡 ⑨天羽生岐城翁顕彰碑(天満神社)
 WC 1.3km
- ⑩王子山古墳群 ⑪阿南公園(正福寺,忠魂碑,八幡神社)
 2.0km 2.0km

富岡公民館

1.0km WC

●泣石観音 牛岐城主、新開遠江守道善は、1582(天正10)年に徳島市の丈六寺で、土佐の長宗我部元親に謀殺された。真淵菴助の必死の知らせで牛岐城を逃げ出した奥方や子供たちは、ここで城が焼け落ちるのを見ながら一夜を泣き明かした。それからというもの、まるで泣いているかの様に、その岩から水がたたり落ち、誰言うどなく、この岩を「泣き石さん」と呼ぶようになった。

●一の堰祈念碑 桑野川下流に造られた石造りの堰で、慶長年間(1596~1614)富岡城番初代賀島政慶が自己の領地の灌漑用水のため構築した。その後幕府の一国一城の命により富岡城をとり崩した際、城の石垣の巨石で築き、寛永年間(1624~1643)に完成した。

●芭蕉の句碑 1821(文政4)年建立。三石神社境内にある。「けらばかり人も年よれ初しぐれ」

●牛岐城跡 トノ町の城山と呼ばれる一帯が牛岐城跡である。1582(天正10)年、牛岐城主、新開遠江守道善が、土佐の長宗我部元親に謀殺されたため落城した。その後、蜂須賀氏が阿波へ入国し、富岡城と改名された。1638(寛永15)年、徳川幕府の一国一城の令により、城が取り壊された。

●天羽生岐城(あもうぎじょう)翁顕彰碑 領家町の天満神社の境内に天羽生岐城の顕彰碑が建てられている。天羽生岐城は諱(いみな)を伸章といい、1825(文政8)年旧富岡町に生まれた。家は代々富岡城番賀島氏に仕え、父隆助は名医であった。医学を受け継いだが、やがて私塾「相親塾」を開いて、和学・漢学を教えた。明治27年病死(享年70)したが、門弟たちは氏の沈実厳正な仁徳を敬い「山高く水長し」と題して顕彰碑を1899(明治32)年建立した。

●王(皇)子山古墳群 阿南駅の東方2kmの所に標高36mの小高い丘があり、ここに3基の古墳がある。これが王子山古墳群である。以前に盗掘されたものと思われ、出土品は見あたらない。この王子山一帯からは須恵器の破片も相当発見されている。登り口から約100m程で展望台につく。

●正福寺 正福寺は市内でも古く由緒ある寺の一つで、771(宝亀2)年の創建と伝えられている。県文化財指定の「加賀染観音尊像掛軸」31幅は、1720年頃(享保年間)の作で、全国的に見ても現存する唯一の貴重な文化財である。寺名は、初め今福寺であったが、鎌倉初期に正福寺と改められた。現在、今福寺という地名があるのは、寺領であった所と考えられる。

●阿南公園 正福寺の裏山一帯が阿南公園である。山頂までの遊歩道脇には種々の樹木が植えられ四季の移ろいを見せている。また桜の名所としても有名で春には公園全体がピンク色になり、夜はポンポリが灯され夜桜見物の人々でにぎわっている。上の八幡神社まで200m程で、神社前の公園から見下ろす眺望はすばらしい。